

北海道大空町・北竜町を視察研修

(冬季観光客誘致事業、空家・空地情報登録制度)

観光事業をいかに、町の活性化をはかる

北海道北竜町は、旧竜北町時代は「竜サミット」で交流があったところで、合併をしないで単独を選んだ町。「太陽を味方につけた町」と銘打ってまちづくりに頑張っています。町のシンボルであるひまわりをデザインしたオブジェが町のあちこちにありました。北竜町では、「空家・空地情報登録制度」「住宅用太陽光発電システム設置補助事業」について研修しました。北竜町には不動産業者がないために、「北竜町に住みたい。町内で家を借りたい」という声にこたえることができないと「空家・空地情報登録制度」を



北海道北竜町で、あいさつする笠原議長



研修先の北海道北竜町玄関前で

発足させ、情報を町が集約して町の広報紙やホームページに空家の写真を掲載し、情報提供を行っていました。北竜町は「住宅用太陽光発電システム設置補助金」制度をつくり、太陽光発電システムを設置する場合には、その費用の一部を補助することになっています。補助金は上限を21万円。町内に住所を有する人を対象に行っています。冬場は雪で発電ができないものがあるが、業者が開発した器具は雪が付着しないように改良されたものです。道の駅で住宅用太陽光発電システム展示相談会なども行われていました。この他に、「LED街路灯導入事業」や高齢者に優しい「いちいち団地建設事業」などを研修しました。

町立高等学校を訪問 冬季観光事業視察 (大空町)

2月14日午後3時過ぎに、大空町女満別空港に到着、昨年本町との交流事業に参加した、町立東藻琴高校を訪問。学校長をはじめ関係者が出迎えてくれました。学校の生徒が作成したスライドを使って学校紹介があり、その後高校で作っているソーセージなどの乳製品を食べながら交流しました。夜は、大空町の町民をはじめ議会議員との交流が盛大に行われました。



町立東藻琴高校での研修

翌日は、大空町の女満別湖畔で行われている「冬季観光事業」(ワカサギ釣り)を体験しました。全面的に湖の水が凍結した湖の



大空町冬の観光事業ワカサギ釣りを体験

氷に穴をあけてワカサギ釣りは大変にぎあうそうです。私たちも用意された専用の竿で釣りを体験しました。参加者全員がワカサギを釣り上げることができました。釣ったワカサギは、観光交流センター「道の駅」(メルヘンピット)で試食しました。近隣に有名な観光地があるが、空港に出入りする観光客に立ち寄ってもらうように馬ソリなどの体験事業などに努力しているとの、道の駅支配人の話は参考になりました。

監査委員研修報告 監査機能の充実を

片山 裕 治

平成23年2月3・4日氷川町監査委員の資質向上と監査機能の充実を資するため福岡県三井郡大刀洗町役場・佐賀県三養基郡みやき町役場において研修を行いました。内容は財政健全化法による審査の手法・住民監査請求事例・監査諸規定の整備状況についてでした。大刀洗町は氷川町と人口・財政状況も似ており、

はつらつとびる交流新都「話・和・輪」話は、みんなで話し合い和は、みんなの心を通わせ輪は、みんなの気持ちをつなぐ、地域づくりに邁進している町。

その大刀洗町役場に入ると庁舎内が明るく感じて一目で各課がわかりやすく表示しているのが印象的で入口には総合案内・受付があり担当者2名が業務にあたっておられ、窓口で証明書等の発行又は、相談窓口を担当者がみずからこら

れて説明され、住民・利用者にとってやさしく配慮されていると感心しました。



住民視点で広報紙を

佐賀・長崎で広報委員会研修

平成23年2月8日議会広報委員会は佐賀県嬉野市議会と議会広報紙編集について研修を行いました。

嬉野市の議会広報紙はこれまで何度も議会広報コンクールで表彰を受けているところですが、また、広報紙を「住民の視点にたって見やすく分りやすい表現をすることや、一人でも多くの方に理解を頂けるような内容になっている」ということで、大変見やすい広報紙でした。

長崎県長与町の議会だよりは、住民参加の広報紙づくりに取り組んでいます。議会傍聴に来た人からの意見を掲載することで、「議会に対する関心を持ってもらえるようになった」ことなど参考になりました。また情報公開では「議長交際費の使途」を毎号に掲載するなど、住民が関心を持てる記事が豊富でした。研修で学んだ事を今後の編集にいかしていきたいと思っております。



長与町の議会だより



嬉野市議会広報研修